

令和5年度 第12回

出水市教育委員会 会議録

日時 令和6年3月10日（日）午前9時
場所 出水市役所 401会議室

出席者	
大久保 教育長	宮崎 教育部長
中村 委員	中原 教育総務課長
池袋 委員	田子山 学校教育課長
長島 委員	東 生涯学習課参事兼指導主事
	別府 出水商業高等学校事務長
	川添 青年の家所長
	岡本 学校給食センター所長
	古川 教育総務課 課長補佐兼教育総務係長
	新垣 教育総務課 主任主査

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	可否の別
報告第10号 予算案の作成に係る市長への意見 申し出について (令和5年度出水市一般会計補正 予算第12号)	予算案について、市長の諮問 に応じ、意見を申し出たので 報告するもの。	特記事項な し	受 理
報告第11号 予算案の作成に係る市長への意見 申し出について (令和6年度出水市一般会計当初 予算)	予算案について、市長の諮問 に応じ、意見を申し出たので 報告するもの。	特記事項な し	受 理
議案第27号 出水市立学校の県費負担教職員に おける人事の内申について	非公開	特記事項な し	可 決
議案第28号 出水市立幼稚園長の任免について	非公開	特記事項な し	可 決

その他

令和6年度出水市教育行政の施策概要（案）について

会 議 要 旨

1 開 会

2 会議録の承認

令和5年度第11回教育委員会会議録については、署名に代えて承認された。

3 教育長の報告

(教育長) 2月10日に県原子力防災訓練に参加した。私が参加するのは、これで3回目になる。

13日から15日までの3日間は、校長との人事評価に係る期末面談、18日は出水市で開催されたNHKのど自慢大会、24日は生涯学習・福祉・ボランティアフェスタ、25日は少年少女合唱団の定期演奏会に参加した。

3月9日は人事異動連絡会で、人事異動に関する県の説明があった。

〈各課長等から「教育委員会報告事項」に沿って、所管業務の報告〉

〈質疑なし〉

4 議事

報告第10号 予算案の作成に係る市長への意見申し出について（令和5年度出水市一般会計補正予算第12号）について

— 予算案について、市長の諮問に応じ、意見を申し出たので報告するもの —

〈教育部長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(長島委員) 資料47ページの大川内中学校と米ノ津中学校のトイレ改修工事の件について、原案には賛成だが、改修の内容について、詳しい補足的なものを教えていただきたい。

(教育総務課長) 大川内中学校と米ノ津中学校のトイレについて、校舎の中にあるトイレではなくて、外のトイレ1か所をそれぞれ改修するものである。現地は自分も何

度か見に行ったが、大川内中は校舎と体育館の間にある外トイレを洋式化、乾式化するというものである。

米ノ津中についても、正門から入って、校舎の一番左の奥に外トイレがあるが、そこのトイレについて、男子の和式が3、洋式が1、女子の和式が7、洋式が1を、男子が3、女子が6、それぞれ洋式に改修するものである。

もちろん床についても、コンクリートの打ちっ放しから乾式化ということで、濡れていない普通の家のようなクロスをはるといようなトイレになる。

大川内中については、男子が和式が1、洋が1、女子が和式が3、洋式が1を、それぞれ洋式に男子2、女子4改修するものである。

(中村委員) 45ページの学習支援アドバイザー配置事業について、この予算自体には反対するものではないが、あまり聞いたことがなかったので、この学習支援アドバイザーというのは、どんな業務内容で何人ぐらい配置されているのかお尋ねしたい。

(学校教育課長) 人数は3人である。内容としては、まず、学習支援の方々には免許を保有していることが条件となる。子供たちの個別指導やTTで説明の補助などの指導を行っている。

(中村委員) それは特定の学校に3人なのか、それとも、その3人で市内を回るのか、どういう活用の仕方をするのか。

(学校教育課長) 3名の方々が、1人2校ずつ回り、合計6校を回っている。

(議決)

(教育長) 異議がないので、報告第10号は原案のとおり受理することとする。

報告第11号 予算案の作成に係る市長への意見申し出について（令和6年度出水市一般会計当初予算）について

— 予算案について、市長の諮問に応じ、意見を申し出たので報告するもの —

〈教育部長が資料に沿って説明〉

(質疑)

(長島委員) 教育費の中で、大体この施設の管理費とか修繕費等が占める割合というのは何%ぐらいか。

(教育部長) 正確な数字は出していないので、管理費の割合は、今、はっきり申し上げられない。必要な維持補修とか修繕、校舎の改修も含めて、そういったものはしっかり計上されていると考えている。

(長島委員) では、別の質問について、資料の185ページに、地域学習等校外活動用バスが書いてあるが、これは各学校に大体幾らぐらいずつ分配されるのか。

(学校教育課長) 幾らずつというのは即答ができないので、また調べて回答する。

(長島委員) 各学校に均等に割当てられるものなのか、それとも予算の計上したところに出しているのかというところも含め、また教えていただきたい。

あともう1点、資料の213ページに、給食センターの運営審議会の委員の人数が30名と記載してあるが、多くないか。30名で協議をしなければいけないものなのか。

(学校給食センター所長) 運営審議会のメンバーについては、30人の中に、それぞれ給食センターから給食を配送する対象校の校長とPTA代表まで含まれているので、各学校については2名ずつということになる。

センターから9学校、5幼稚園に配送しており、幼稚園については小学校の附属幼稚園もあるので、校長と園長が一緒の場合、人数がその分は減るが、その部分で人数が多くなっている。

(池袋委員) トイレの改修工事については、いろいろ計画をされて各学校進められているが、これは洋式化も含め、あと、各学校多目的トイレも設計に含まれていくのか。

(教育総務課長) 今回の補正でも米ノ津中、大川内中、また、当初予算に出水中があったが、多目的トイレは、この設計には入っていない。多目的トイレの設置については、今後、避難所の関係で設置が必要なので、今後計画をしていく予定としている。

(中村委員) 順天市に派遣をしたり、台湾に派遣したりという交流事業の予算が計上されているが、この対象者は、市内全域から誰でも応募できるものなのか、今年度は出水中が行ったが、どういう募集の仕方を考えているのか教えていただきたい。

(生涯学習課参事兼指導主事) まず、順天市への派遣については、中学生、高校生13名を考えている。この13名については、これまでの順天市との交流の中で、この人数で行っており、特に、今年度、受け入れのときに参加をした中高生を、まず、

そちらと、都合が悪いときには、市内全域から希望をとって参加をしていただくということになる。

プーリーチンについては、受け入れ事業である。プーリーチンの中学生10名の受け入れを予定している。

(教育長) 中村委員が言われた出水中というのは、出水中が独自でやっているものなので、これとは別になる。

(中村委員) 台湾については、全体に募集をかけるのか。

(生涯学習課参事兼指導主事) 同一の子供たちの交流ということで、全体に呼びかけて募集を行う。

(中村委員) 承知した。

(教育部長) 今、中村委員が言われたのは、海外との青少年交流が生涯学習課の分で、今までやっていた順天市との青少年交流の台湾版でその追加の部分と、あとは学校教育課で所管する中学生海外派遣学習交流事業がある。

(学校教育課長) 学校教育課では、中学生を海外に派遣して学習交流という事業を来年度、新たな事業としている。来年度は、台湾とオンラインで交流している学校に子供たちが派遣されるということで、対象になるのは市内の中学生全員だが、イングリッシュスピーチコンテストを実施し、上位3名ずつ、2年生3名、3年生3名を派遣する予定にしている。

(教育長) そういうことで、全員にチャンスはある。

(池袋委員) 児童机椅子購入については、189ページの小学校教育設備費に記載されているが、今の進捗はどうなっているのか。来年は3校、あと3年間で全部が入れ替わるということによろしいか。

(教育総務課長) この事業は令和4年度から行っており、令和8年度で出水地域の学校の机椅子を全部入れ替えるというものである。

高尾野・野田地域はなぜ入れ替えないかというと、出水地域の前回の机購入は平成14年から16年度に実施しているが、高尾野・野田地域は平成22、23年に購入しており、まだ新しいので、出水地域を令和8年度にかけて入れ替えることになっている。

今、5年間のうち3年目で、予算額は一緒なので、大体割合がこれで5分の3を達成するというところになる。

〈議決〉

(教育長) 異議がないので、報告第11号は原案のとおり受理することとする。

議案第27号 出水市立学校の県費負担教職員における人事の内申について

〈非公開〉

〈議決〉

(教育長) 異議がないので、議案第27号は原案のとおり可決することとする。

議案第28号 出水市立幼稚園長の任免について

〈非公開〉

〈議決〉

(教育長) 異議がないので、議案第28号は原案のとおり可決することとする。

5 その他

(1) 令和6年度出水市教育行政の施策概要(案)について

〈教育総務課・学校教育課・生涯学習課・青年の家の各課長等が資料に沿って説明〉

〈質疑なし〉

(2) 学力検査の結果・災害支援派遣について

(池袋委員) 学力向上プロジェクトもあったが、1月の学力検査は全体的にどうだったのか、教えていただきたい。また、点数化できる、評価して向上を目指す主要5教科以外の実技的教科の教育向上については、どのような取り組みをしているのか教えていただきたい。

また、1月には石川県の能登半島の震災があったが、ニュースで見ると、県内からもいろいろな方が支援に派遣されているようだが、出水市からもそういったものがあるのか。こういったものは何か要請があって準備をしていくものなのか、スキームなどを教えていただきたい。

(教育長) まず、1月の試験というのは、鹿児島県が県内の小・中学生に対して定着度調

査をやっている。その定着調査についてのお知らせは後日行う。

(教育部長) 2点目の職員派遣だが、石川県の能登半島地震の支援の関係について、市長からも議会の初日でその話があった。当初、給水関係で給水車の派遣を予定していたが、状況がまた変わり、他からの応援とか、そういったこともあり、そこはなくなっているのではないかと考える。県などを通じたりして、支援の要請があると思っている。今のところ、派遣の予定はないという状況である。

(教育長) 教員は、県の教育委員会から要請があり、出水市からの希望は出なくて、県内から1人だけ派遣がされた。教員の場合、希望を取るが、希望を出したから行けるというわけではない。

6 閉 会